

三崎地区中学校適正配置協議会ニュース

第6号（平成23年4月11日発行）

3月25日（金）に平成22年度最後となる第6回協議会を開催しました。前回、本協議会で検討することに決定した3点の課題（統合時における使用施設、校名、統合に向けたスケジュールに）についての活発な意見交換が行われました。

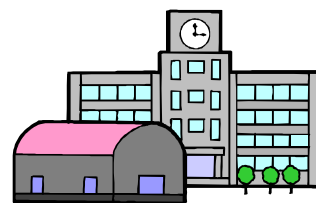
『上原中学校の施設を使用』で意見まとまる

前回（2月18日）の協議会では、両校の施設や通学距離・時間の比較資料、施設見学などを基に使用施設についての検討を行いました。

今回は前回の検討内容などを踏まえ、さらに議論を深め、本協議会としての使用施設についての意見を取りまとめました。その結果、統合時には上原中学校の施設を使用することの優位性が、各委員により確認されました。

使用施設に関する主な意見は次のとおりです。

- 今回の大地震が起きている状況の中で、再度、そのような状況になりかねないということを考慮しなければならない。子どもたちを預かる立場で考えると、できる限り新しい学校を使用すべきである。
- 耐震補強やリニューアルをしたとしても、根本的に構造躯体の老朽化は年々進んでいく。それを回避しながら建物を継続的に使用していこうとすると、コスト的には築年数の古いほうがかかってしまう。合理性から考えると築年数の浅い上原中学校の施設を使うほうが良いのではないかと考えられる。
- 現在在籍している生徒やこれから通う生徒が、統合してよかったと言えるような内容になること、併せて、デメリットを極力解消することがすごく大事だと思う。
- 三崎中学校の周りには民家があって、目が届きやすい。上原中学校の場合には死角もあるので、上原中学校に移った場合にはそのあたりの対応をしっかりとしなければいけない。子どもたちが授業を受ける環境としては、上原中学校のほうが周りは畑で静かで集中しやすいのかと考えている。
- 三崎中学校の1つの棟は教室が集まっていて、もう1つは管理・特別教室棟となっていてすっきりしているので、新1年生等が入ってきても迷うことはないと思う。上原中学校は建て込んだような状態になっているので、構造的に動線を直すとはいっても厳しいと思うが、特別教室をまとめるなどして工夫することは可能だと思う。
- 子どもの安全ということから考えていけば、津波や耐震の問題を重視しなければならない。子ども達が通学にやや不便であっても、のびのびと教育活動ができる条件というものも考えていくと上原中学校のほうが少しは良いのかなという感じがする。



（うら面に続く）

(おもて面からの続き)

- 三浦半島の突端にある三崎中学校の4階から見る景観の中で過ごす3年間は、すごく恵まれていると思う。景観が教育的にどのような効果があるか分からないが、あの場所を三崎の子どもから奪ってしまうのはもったいない。
- 城山が三崎地区の拠点として、核として非常に大きな機能をしている。仮に上原中学校に統合して三崎中学校を使わなくなった場合に、城山の機能の1つが失われることになるが、この後をどう使うかというのが行政にとって非常に重要である。

統合に向けてのスケジュール

平成26年4月の統合に向けて、下図のような流れで今後進めていくことを確認しました。

機 関	年 度	23年度	24年度	25年度	26年度
三崎地区中学校 適正配置協議会		検討・意見集約 ・使用施設 ・校名 ・統合に向けた スケジュール 意見書提出(9月)			
三浦市		実施計画策定(1月) ※政策会議で議決		関係条例改正 (9月)	統合実施 (4月)
三浦市教育委員会		意見書 実施計画策定(12月) ※定例教育委員会で議決		通学区改正 (10月)	
学校再編検討委員会		設置(10月) 実施計画案検討 → 実施計画案策定 (12月)			
両校PTA・ 教育委員会事務局			検討 ・校歌 ・校章 → 左記事項 決定 → 左記事項 事務手続		
両校PTA			検討 ・制服 ・ジャージ ・PTA組織と運営方法 ・通学方法 → 左記事項 決定 → 左記事項 事務手続		
両校教職員・ 教育委員会事務局			検討 ・教育課程 ・学校行事 ・校則 ・生徒会活動の運営方法 ・部活動の種類と運営方法 ・教材、教具 ・統合前の両校による交流行事 ・備品、校具 → 左記事項 決定 → 左記事項 事務手続 事業実施		

校名については引き続き検討

校名については、以下のような意見を始め、各委員から意見が述べられましたが、今回の協議会では結論が出ませんでした。次回以降、引き続き検討していきます。

- 「三崎」は歴史ある地名であり、地域を代表する意味でもこれを生かすべきだと思う。
- 新しい中学校ができるという発想で考えれば、新しい名称を付けるということはいいことだと思う。
- 大事なのは、みんなが愛し続けていく、その学校を誇りに思える名前をどういう形で考えるのが一番良いのかということ。

◇◇◇ ご意見等がございましたら、電話・FAX・Eメールでお寄せください。◇◇◇

三崎地区中学校適正配置協議会ニュース(第6号) 平成23年4月11日発行

発行：三崎地区中学校適正配置協議会
 編集：三浦市教育委員会事務局 教育部 総務課(三浦市城山町6-9)
 電話 046-882-1111(代表) FAX 046-881-7854
 E-Mail kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp

